

The WinActor logo, consisting of a blue speech bubble containing a red stylized 'A' with a small registered trademark symbol.

WinActor[®]

Ver.7.7.0 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

WinActor Ver.7 シリーズとは



Ver.7シリーズでは、最大の特徴である「現場フレンドリー」の思想を一層進化・深化させ、初心者はもちろん上級プログラマにも対応可能な、誰もが使いやすいRPAを追求します。

Ver.7.7.0には以下の特徴があります。

- AIヘルプ
- ライブラリPython化の支援
- ユーザ独自ライブラリの登録・最新化
- Outlook操作ライブラリ(Microsoft Graph)
- データ操作ノード
- インストーラの改善
- AI連携ライセンスの改善

1 新機能

Ver.7.7.0で追加される機能について説明します。

新機能の表記について

このリリースノートではライセンス、機能毎の違いを説明するために、次の表記を用います。



この表記がある場合、NL版で利用できます。



この表記がある場合、FL版で利用できます。



この表記がある場合、AL版で利用できます。



この表記がある場合、フル機能版で利用できます。



この表記がある場合、実行版で利用できます。

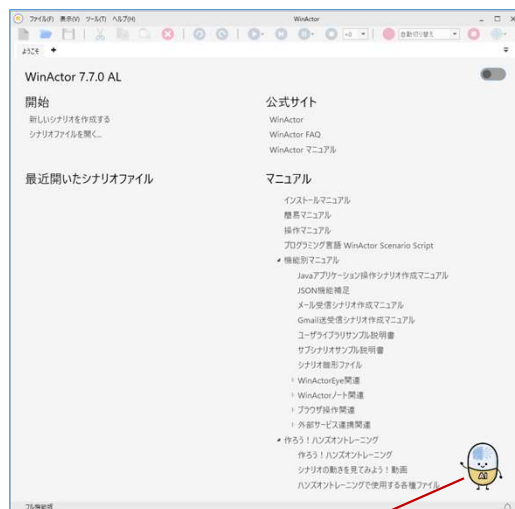


この表記がある場合、管理実行版で利用できます。

WinActorの操作やエラー対処などの質問を手軽に行えるようになります。



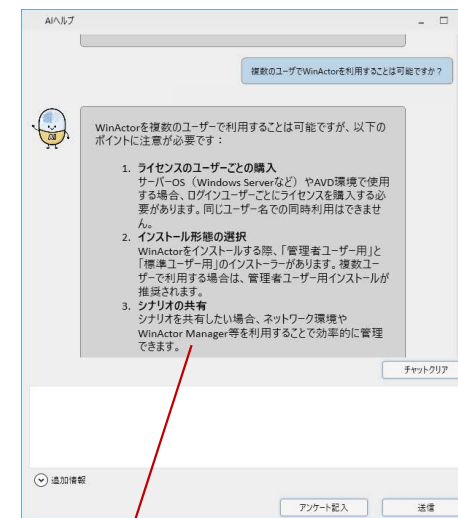
WinActorに関するユーザの問い合わせに対して、生成AIが関連情報をもとに回答するサポート機能を提供します。



ようこそ画面のアイコン、または
[ヘルプ] > [AIヘルプ] から
起動します。



質問内容を生成AIへ送信します。
画像やログの送信も可能です。



生成AIの回答が表示されます。
品質向上のため、アンケートへ
のご協力をお願いいたします。

※本機能の利用前に、生成AIとの接続に関する設定(生成AI連携画面)が必要です。

詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.2.3 ツールメニュー」の「外部サービス連携 生成AI連携画面」をご参照ください。

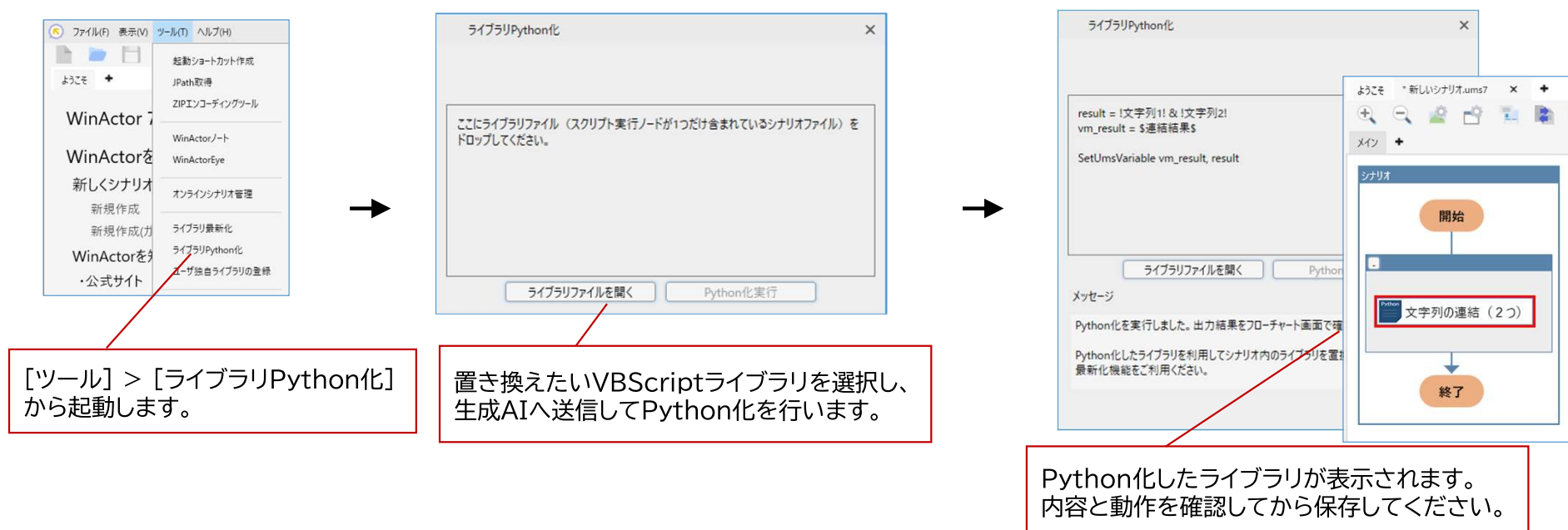
※本機能利用時、NTT-ATの管理するサーバ、および、Azure OpenAIのサービスが提供されるサーバと通信します(日本リージョンのみ)。

ライブラリPython化の支援

既存資産を活かしながら、Pythonライブラリへの移行を効率的に行えるようになります。



ユーザが独自に作成したVBScriptライブラリを、生成AIによりPythonライブラリへ置き換えることを支援する機能を提供します。



※本機能によってPython化されたライブラリは、正しい動作が保証されていません。必ず出力されたPythonコードを確認してください。

※本機能利用時、NTT-ATの管理するサーバ、および、Azure OpenAIのサービスが提供されるサーバと通信します(日本リージョンのみ)。

ユーザ独自ライブラリの登録・最新化

ユーザが作成したライブラリの保守・更新を、より簡単に行えるようになります。



ユーザが作成したライブラリをWinActorに登録し、同梱ライブラリと同様にシナリオ単位で一括して最新化する機能を提供します。

[ツール] > [ユーザ独自ライブラリの登録]
[ツール] > [ライブラリ最新化]
から起動します。

ユーザが作成したライブラリを
WinActorに登録します。

ライブラリ最新化

シナリオファイル フォルダ

シナリオファイル/フォルダ C:\Users\WinActor\Documents\WinActor\MyScenario.ums7

☒ サブフォルダも検索する

選択	フォルダ名	ファイル名	更新可能	更新可能 (変更)	最新または更新対象外	状態
☒	C:\Users\WinActor\Documents\WinActor\MyScenario.ums7	MyScenario.ums7	3	0	0	更新可能

☒ すべて選択 / 選択解除

選択した項目を削除 ライブラリ情報 設定 ライブラリを最新化

最新化

シナリオに配置されたライブラリを
一括して最新化します。

※各機能の詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.2.3 ツールメニュー」の「ユーザ独自ライブラリの登録」「ライブラリ最新化」をご参照ください。

※ライブラリPython化と組み合わせた一連の置換手順は「7.7 シナリオ内のVBScript版ユーザ独自ライブラリをPython版ライブラリへ置換する手順」をご参照ください。

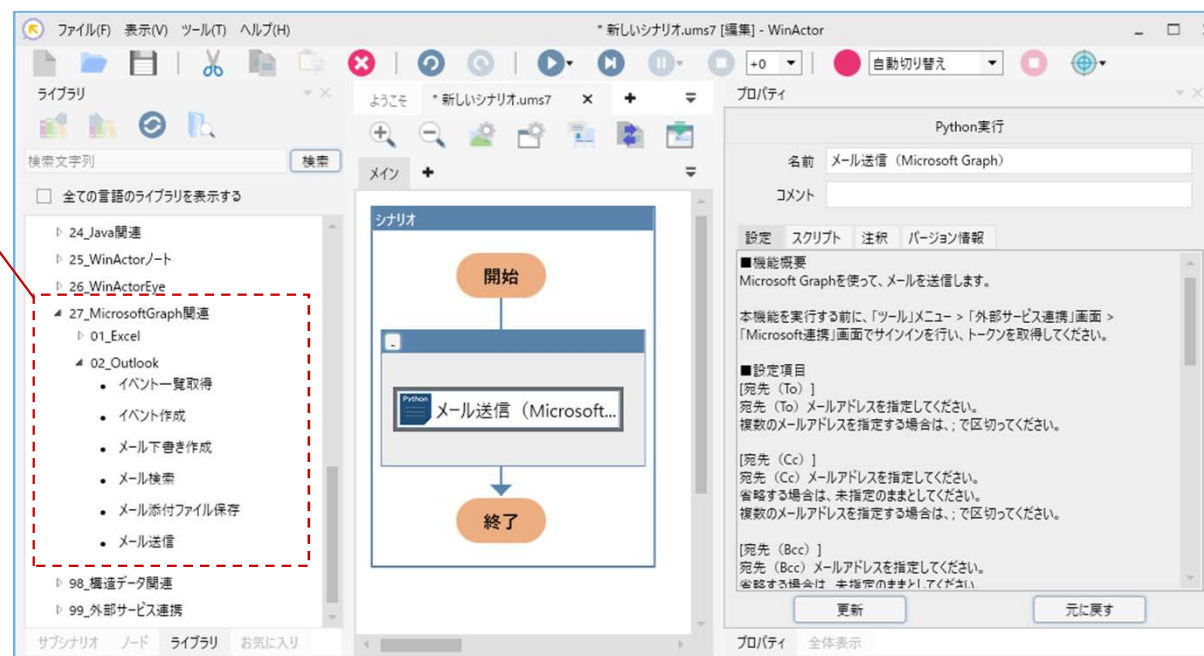
Outlook操作ライブラリ(Microsoft Graph)

Outlook の機能を、より幅広い環境で操作できるようになります。



Microsoft Graph に対応した Outlook を操作するためのライブラリを提供します。

ライブラリパレットの
[27.MicrosoftGraphAPI関連]
> [02_Outlook]
配下に追加されています。



※本機能を実行するためには、連携画面でMicrosoftアカウント認証が必要です。

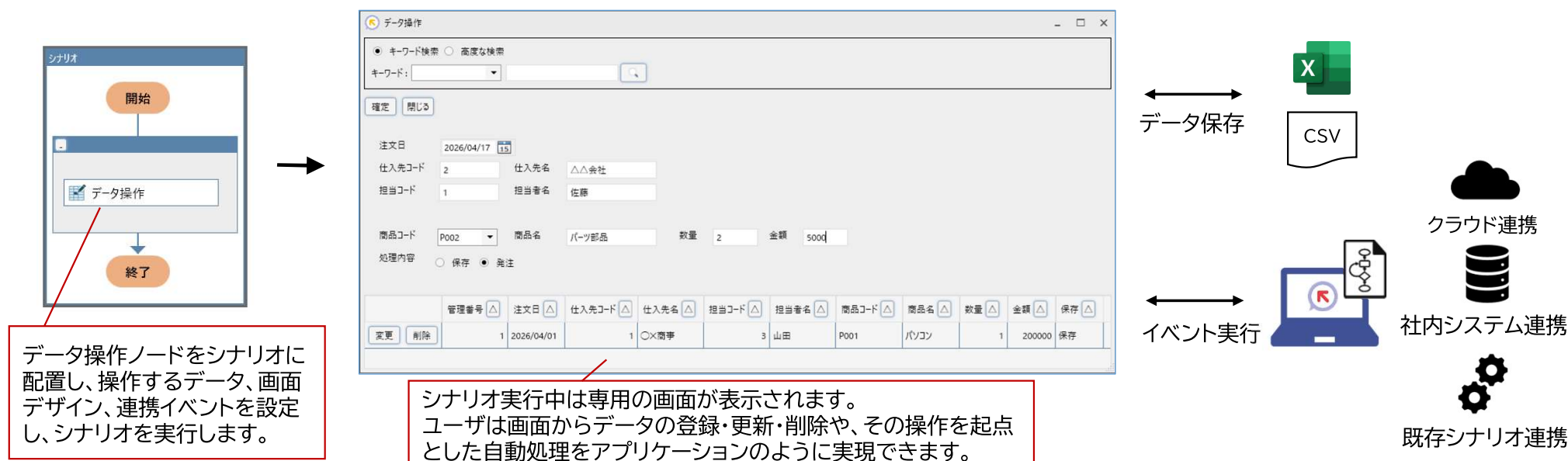
詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「3.2.3 ツールメニュー」の「外部サービス連携 Microsoft連携画面」をご参照ください。

データ操作ノード

既存業務でご利用中のシステムと連携しやすくするための「データ操作ノード」を新たに追加します。



ご利用中のシステムへのデータの登録・更新・削除を行う画面を、自由にデザインするための機能を提供します。「データ操作ノード」から既存のWinActorシナリオへ連携することもできますので、これまでのシナリオを活かした新しい業務自動化を実現できます。



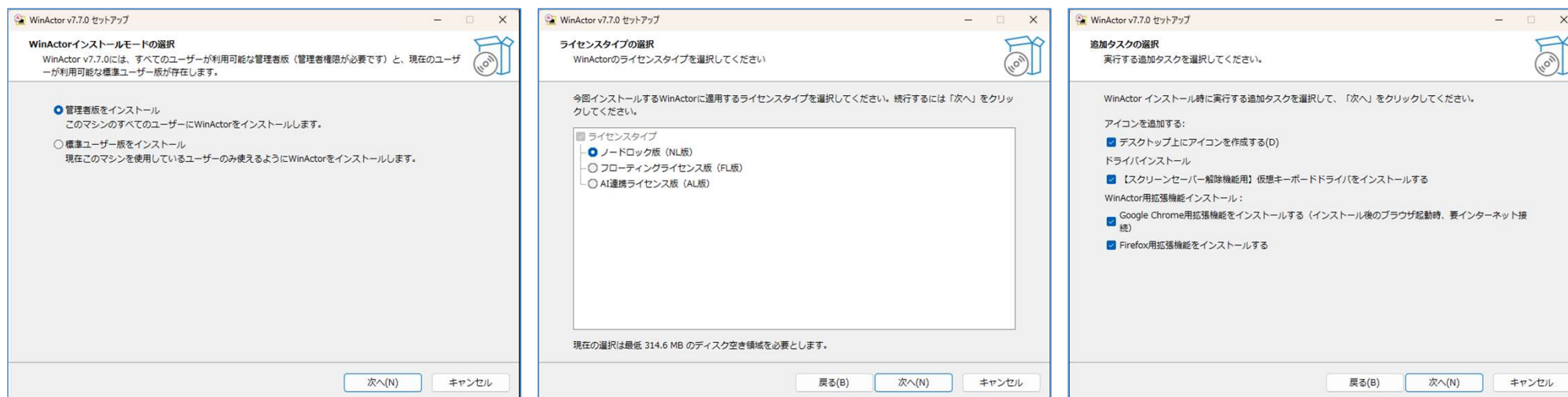
※各機能の詳細は同梱の操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual)「1.24 ローカル業務アプリケーション」「4.4.11 データ操作」をご参照ください。

インストーラの改善

WinActorのインストーラが集約されます。



インストール時に、インストールモード(管理者/標準ユーザー)、ライセンスタイプ(NL/FL/AL)、ブラウザ拡張機能のインストールを選択できるようになります。



※ご提供形態(配布パッケージ)によっては、インストールモードやライセンスタイプ等があらかじめ固定で指定されている場合があります。

※ご提供形態(配布パッケージ)によっては、マニュアルが同梱されておりません。

その場合、オンラインダウンロードを許可することで必要なファイルがダウンロードされ、マニュアルを参照できます。

詳細はインストール後にマニュアルフォルダへ配置されるマニュアルアクセスガイド(WinActor_ManualAccess_Guide.pdf)をご参照ください。

※ブラウザ拡張機能は管理者版の場合のみインストーラから選択できます。

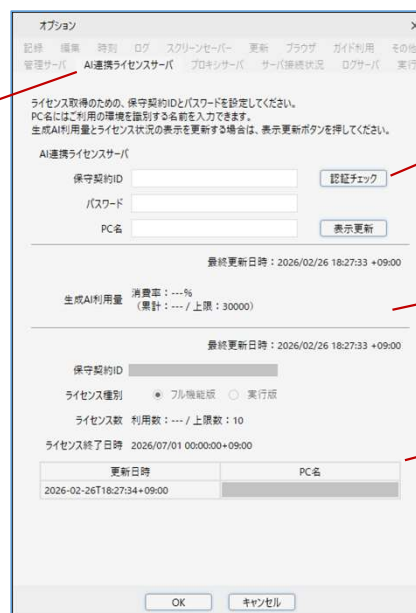
AI連携ライセンスの改善

AI連携ライセンスがより使いやすくなります。



Ver.7.7.0 AL版では、AI連携ライセンスサーバの設定画面が新たに追加されます。
また、Ver.7.7.0 AL版には評価ライセンスが付帯されており、初回起動後にAL版をお試しいただけます。

WinActor AL版を起動後
[ツール] > [オプション] >
[AI連携ライセンスサーバ]
タブを開きます。



製品版のAI連携ライセンスをご利用の際は
WinActorライセンス証書に記載の保守契約ID、
ライセンスサーバパスワードを設定してください。

契約したAI連携ライセンスの生成AI利用状況が
表示されます。

契約したAI連携ライセンスが現在使用している
ライセンスの利用状況が表示されます。

※Ver.7.7.0 AL版の利用にはNTT-AT提供のAI連携ライセンスサーバとの接続が必要です。
ご利用の環境にてインターネット接続のためにプロキシ接続が必要でしたら、WinActor起動後にオプション画面よりプロキシサーバの設定を実施してください。

※Ver.7.6.1でAI連携ライセンスをご利用いただいていたユーザも、初回起動時にAI連携ライセンスサーバの設定が必要となります。

2 改善に伴う注意事項

Ver.7.7.0で行った改善に伴う注意事項について説明します。

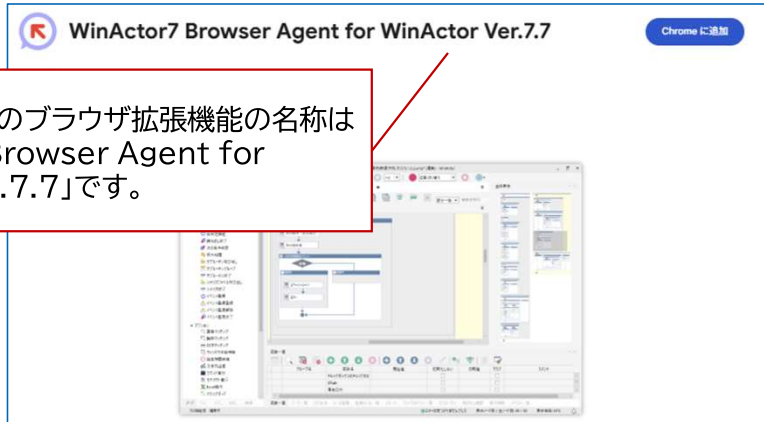
ブラウザ拡張機能の利用に関する注意事項

■ ブラウザ拡張機能の再導入のお願い

Ver.7.7.0では新規にブラウザ拡張機能を用意しています。

そのため、Ver.7.6.1以前のバージョンでブラウザ拡張機能を導入していた環境においても、Ver.7.7.0でWebブラウザの自動記録や自動操作(ブラウザ拡張機能使用)の機能を利用する場合は改めてブラウザ拡張機能の導入をお願いいたします。

Ver.7.7.0向けのブラウザ拡張機能の名称は「WinActor7 Browser Agent for WinActor Ver.7.7」です。





Ver.7.6.1以前のバージョンで導入したブラウザ拡張機能は残ったままでも問題ありません。WinActorのバージョンアップ後不要になりましたら、マニュアルを参照してアンインストールしてください。

※ Ver.7.7.0より前のバージョンの WinActor を使用される方も、新しいブラウザ拡張機能を利用可能です。

※ブラウザ拡張機能の導入方法については、「Chrome拡張機能インストールマニュアル」、「Firefox拡張機能インストールマニュアル」をそれぞれご参照ください。

3 改善・要望の一覧

Ver.7.7.0で行った改善・要望の一覧について説明します。

改善・要望の一覧

Ver.7.7.0にて行った改善の一覧(14件)は
「WinActor_v770_改善の一覧.pdf」
に記載しています。

Ver.7.7.0にて対応した要望の一覧(4件)は
「WinActor_v770_要望の一覧.pdf」
に記載しています。

また、上記一覧とは別に、WinActorで表示するメッセージ、および、マニュアルの内容がより読みやすく、
分かりやすくなるよう、文言・表現を見直しました。

 WinActor[®] Ver.7.7.0 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

Copyright(c) 2026 NTT, Inc. & NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本書の内容は予告なく変更される場合があります。

64-L-0727

お客様と共に進化し続けるバリューパートナー

お客様に真摯に向き合い、時流を読みながら常に革新的なご提案を行い、
新しい価値を生み出し続けるパートナーでありたい、それが私たちの目指す姿です。

